

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [府中市立栗生小学校] 担当教諭名 [上中 健司] (5年1組 13名・特別支援学級2組5年 1名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Cheng-Kung Primary School] 担当教諭名 [Annie Lo]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界の未来を考える	60

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Let's protect animals and plants and our lives.
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	動植物と私達の命を守ろう！ よりよい行動で、よりよい世界を！



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・同年代の外国の小学生と交流できたことで、異国に対して、興味や関心をもつことができた。 ・SDGsについて調べる学習や学習発表を行ったことで、環境を守っていく大切さを実感することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで交流することは、相手との距離を近くに感じられる一方、話す内容を英語で練習することに時間がかかってしまった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの自己紹介を通して、異文化に触れたり、台湾へ行ったりしたいと考えるようになった。 ・台湾の小学生が日本のランドセルを持っているなど、日本とのつながりを意識することもできた。 ・言語の違いはあっても、正しく話せば伝えたいことが伝わることを実感できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾の小学生や先生方と触れ合う中で、平和な世界を目指す目的を共有することができ、SDGsへの意識が高まった。 ・台湾のニュースなど、より意識してみるようになったことで、台湾への関心が強まった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	・自己紹介 ・学校、地域紹介	・意欲的に自己紹介の練習をしたり、相手に質問をしたりしていた。 ・友達と協力してスライドを作成し、学習に取り組んでいた。	総合
共有 テーマ学習	8月 ～ 11月	・図書館で「調べる学習」 ・学習内容を劇で発表	・グループごとにテーマを決めて、友達と相談しながらレポートにまとめていた。 ・自作の劇を通して、セリフやスライドでメッセージを伝えようとしていた。	総合
融合 メッセージ作成	11月	・絵に込めるメッセージを考える。 ・メッセージの共有	・話し合いを通して、メッセージについて考えていた。	総合
創造 壁画制作	12月	・森をテーマに絵をかく。	・図工で描いた絵をもとに、友達と協力して「森」をテーマにした絵を描いていた。	総合
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	・学習のまとめ ・まとめの交流	・自分が頑張りたいことについて短文を作成して、イラストで表現しようとしていた。	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	お互いの国や地域をスライドで紹介し合い、その後の感想や日記で台湾の興味が大きくなっていると感じた。また、台湾でも日本文化が生活の中で人気があることを知り、嬉しそうだった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	SDGsの学習では、調べたことを自分なりに考えてはいたが、疑問や納得につながりにくく、知ったことをそのまま理解して終わることが多かった。
主体的に考え行動する力	4	台湾の友達へ進んで質問をしたり、自文化を紹介したりして、楽しく交流できた。また、調べたことを学習発表会で発表したいという意見も上がり、意欲的に取り組んだ。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	各々の学習をフォーラムで交流することで、お互いの学習内容に興味をもって学習を進めることができた。また、協働で完成させた絵に達成感を感じている様子だった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	植樹する場面を絵に描き表すことで、森林を大切にしたい、地球を守っていききたいという気持ちを表現できた。話し合いを通して、人間や動植物の未来を守っていくのは自分達であることを実感できた。